

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	54 (20) 45 (17)	施設内の掃除が行き届かず汚れている。 少ない職員体制と、生活全般において介助が必要な入居者が多くおり見守り、介助に手がかかってしまう現状は否めない所ではあるが入居者、御家族が不快に感じないような環境にしなければいけない。	いつ誰が来訪しても「いつも綺麗ですね」と言ってもらえる施設にする。 入居されている方達が居心地良く過ごせる環境を作る。	もちろん、入居者の状態を一番に考え、1週間に1日を『掃除の日』と定め実行していく。また、毎日行っている居室内・フロア・廊下・玄関等の掃除に関しては、もう少し念入りに行うようにする。掃除当番を決めるのではなく、職員全員が1日1度は箒・クイックルワイパー・モップ・雑巾を持ち気づいた所を掃除する。脱衣室には棚を置き、洗剤類を置く場所スッキリさせる。	3 ヶ月
2	36 (14)	「グループホームは家の代わり・・・」という事を勘違いし、慣れあいの言葉が日常的に使われていた。 親しさを込めての気持ちが言葉として表れているとは思いますが、人生の先輩として敬う気持ちが薄れていたのかもしれない。	家代での生活が自分の家にいるように穏やかに落ち着いて過ごせる場所であることが一番ではあるが、そんな生活の中であっても、一人一人に対し尊敬の念を持ち、敬う言葉遣いを徹底していく。	次回ミーティング(10/31・11/8)にて接遇研修を行う。 職員間で注意し合える関係づくりを再構築していく。	3 ヶ月
3	23 (9) 49 (18)	入居者本人の希望・想いを遠くて出かけられないと決めつけてしまっていた。 御家族込みでの遠出外出をしたい。	「昔好きだった釣りに行きたい」 歩行不可であっても安全に行ける場所を探す。 「美術館に行きたい」 図書館と一緒に行き好きな物を借りる。 他の方達の希望もできる限り叶えてあげた 築との円滑な協力体制の確保。	安全に楽しめる場所を捜し出かける。 『10/10職員と共に釣り堀に行き釣りを楽しんだ』 他の方達の希望も聞き、ご家族の力も借りて外出を今後も継続していく。 市の図書館に行く。	3 ヶ月
4	35 (13)	災害時、近隣の方達の協力をお願いできる体制は整えてあるが、地区単位としての双方の協力体制が充分とは言えない状況である。	築との円滑な協力体制の確保。	地区の防災訓練への参加。 築の集会に参加する。 備蓄の増量。	6 ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。